

# V10G2 簡易取扱説明書

本紙は弊社消防ポンプ「V10G2」をお使いいただくための簡易的な取扱説明書です。  
 本機に附属する正規の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
 特に「使用上の注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。

始動・運転手順		操作部位 風船番号
1	排水バルブ、放水バルブハンドルを閉じる。	①、②
2	燃料バルブを開く。	③
3	スロットルレバーを「始動」の位置に合わせる。	④
4	リコイルスタータ（手動）にてエンジンを始動する。	⑤
5	エンジン始動後、吸水レバーを引き上げ、吸水する。	⑥
6	真空ポンプ排水パイプから連続的に水が出るのを確認（圧力真空ゲージが正圧力側に作動）してから吸水レバーを速やかに元に戻す。	⑥、⑦、⑧
7	放水バルブハンドルをゆっくり開き、全開にする。	②
8	正常な放水状態であることを確認し、圧力真空ゲージを見ながら必要圧力までスロットルレバーで調整する。	④、⑧

停止・終了手順		操作部位 風船番号
1	スロットルレバーを低圧側に回し戻す。	④
2	放水バルブハンドルを閉じる。	②
3	ストップスイッチをエンジンが完全に停止するまで押し続ける。	⑨
4	燃料バルブを閉じる。	③
5	排水バルブを開けて完全に排水し、吸水口キャップを取りつける。	①、⑩
6	エンジン始動後、吸水レバーを引き上げ、真空ポンプを約10秒間作動させる。	⑤、⑥
7	排水バルブを閉じる。	①
8	吸水レバーを引き上げ、真空ポンプを約30秒間作動させて真空形成後、真空漏れ確認を行う。	⑥
9	スロットルレバーを「低圧側」に戻し、ストップスイッチをエンジンが完全に停止するまで押し続ける。	④、⑨
10	排水バルブをゆっくり開けてポンプ内の真空を抜き（大気開放）、再びポンプ排水バルブを閉じる。	①
11	燃料を受ける容器を用意し、ドレンバルブを引いてキャブレタ内の燃料を完全に抜く。 容器に溜まった燃料は、その都度燃料タンクに戻す。※水、ゴミ等が混ざっている場合は廃棄処理する。	⑪

